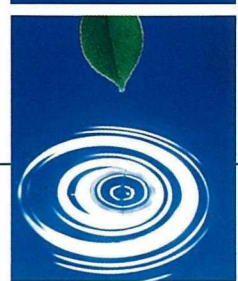


無希釈で省エネルギー形の理想の処理システムです。



三菱重環は、標準脱窒素処理方式と高負荷脱窒素処理方式で培った高度な処理技術と、近年急速な進歩を遂げている膜分離技術を効果的に組み合わせ、膜分離高負荷処理方式（RUシステム）を完成させました。

このシステムは、ロータリアマイザと限外ろ過の最新技術の採用により、無希釈で高度な処理水を得るばかりでなく、施設のコンパクト化、維持管理費の低減もはかれる、これからの理想的なシステムです。

特長

- 無希釈処理が可能
- プラントの維持管理費を大幅に低減
- 施設の設置面積が少ない
- 自動化により大幅な省力化が可能

■処理プロセス

膜分離高負荷処理設備

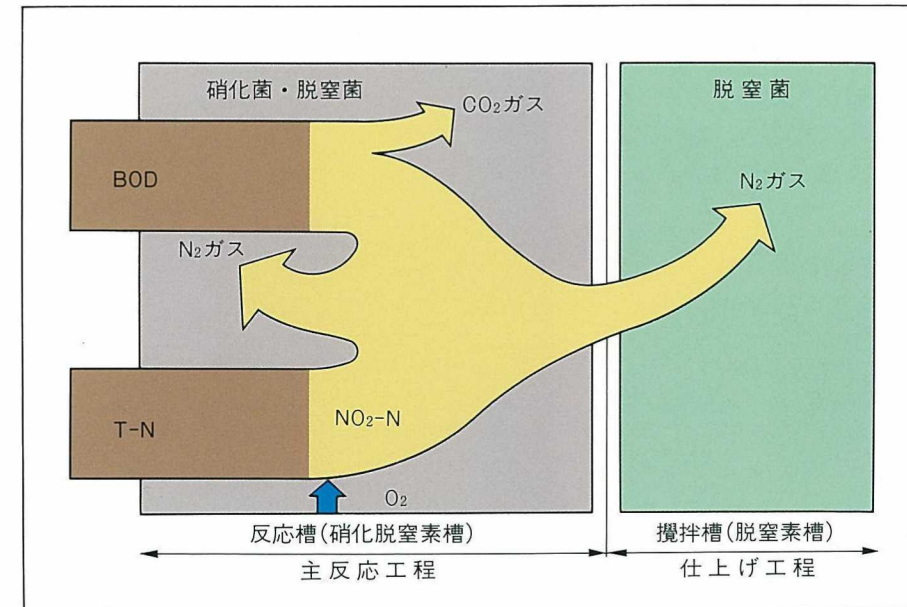
ロータリアマイザを採用した高効率反応槽により、し尿中の窒素を効率よく除去します。反応槽と攪拌槽のDOとORPを常に計測し、自動制御することで、処理効率の安定化をはかっています。この自動制御の導入によりこれまでの煩わしいばっ気空気量の管理がまったく不要となりました。

さらに処理水と汚泥は、膜分離装置により完全に分離され、SSゼロの清澄な処理水が得られます。この分離装置の採用で、従来の汚泥管理も不要となりました。

高度処理設備

活性炭吸着設備によりCOD、色度をさらに取り除き、無色透明な処理水とします。

■処理原理



	生し尿	膜処理水	活性炭吸着処理
BOD	8000～14000	10	5以下
COD	2100～8600	120	10以下
SS	8000～20000	0	0
T-N	3200～5200	40	10以下
色度	—	600	20以下

(単位はmg/l、色度は度)

膜分離装置

固液分離工程に、限外ろ過膜を用いた膜分離装置を採用しています。限外ろ過膜では数十オングストローム(1Å:10⁻⁴μ)以下の粒子しか透過しないため、処理水から活性汚泥を完全に分離でき、汚泥膨化などによる処理水質への影響もまったくありません。とくに、この膜分離装置ではチューブラ型を採用していますので、スポンジボールによる自動洗浄が可能となり、メンテナンスも非常に容易です。



膜分離高負荷処理設備

高度処理設備

